



## 動きのある 写真が撮りたい!



「たくさんの人々が忙しそうに行き交っているパースの街並みを、動きのある写真で表現できたらと思

います。どのようにしたら、そのような写真は撮れますか？」

**かわいい!を撮るコツ** まず、カメラを固定します。何かの上に乗せる、もしくは三脚を使用して、手ブレが起らないようにします。そして、カメラ機能の“シャッタースピード(※1)”の設定が遅くなるように、“F値(※2)”を一番大きな数値(例:F22、F32)にしてください。加えて、カメラの機能の“ISO(※3)”を一番小さな数値(例:ISO50、ISO100)に設定します。

この2つの機能の設定を調節して、かつ、手ブレしないように撮影すると、人物が動いているような動きのある写真が撮れます。

※1: シャッタースピードとは、シャッターの開閉時間を指します。  
※2: F値とは、絞り値とも呼び、レンズの中に入ってくる光の量を数値化したものです。  
※3: ISOとは、ISO感度とも呼び、カメラ内のセンサーが光を感じ、その光の量の大小を表す数値です。  
注) この方法は、主に一眼レフカメラ、ミラーレス一眼カメラでのコツとなります。

## キラキラした夜景が撮りたい!



「日本とは違う形の信号機や照明、ネオンを活かした幻想的な夜景を撮ってみたいです。アドバイスください」

**かわいい!を撮るコツ** キラキラした、実景のない夜景が撮りたい場合は、まず、カメラ機能の“F値(※1)”を一番小さな数値(例:F1.4、F2.8など)にしてください。そして、レンズ横にあるAFとMF(※2)のつまみを“MF”に切り替えます。その2つの設定をした後、ファインダーや液晶画面を覗きながら信号機や照明が丸くボケる方向に、手でレンズの“フォーカスリング(※3)”を回して撮影します。

※1: F値とは、絞り値とも呼び、レンズの中に入ってくる光の量を数値化したものです。  
※2: AF(オートフォーカス)とは、カメラが自動でピントを合わせてくれる機能で、MF(マニュアルフォーカス)とは、手でピントを合わせる機能です。  
※3: レンズのフォーカスリングとは、ピントリングとも呼び、手でピントを合わせるリングの部分指します。  
注) この方法は、主に一眼レフカメラ、ミラーレス一眼カメラでのコツとなります。

